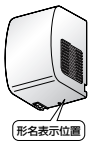
MITSUBISHI ELECTRIC

1502874HD4303



形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

三菱小口径トイレ用排気ファン【トイレ・洗面所・居室用】

形 名

V-05P2（電源プラグタイプ）
V-05PD2-SW（速結端子・本体入 / 切スイッチ付）
V-05P2-S（ストレート排気・電源プラグタイプ）
V-05PD2-S-SW（ストレート排気・速結端子・本体入 / 切スイッチ付）

据付説明書

販売店・工事店様用

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品はトイレ・洗面所・居室に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を据付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。（V-05PD2-SW・V-05PD2-S-SW は本体入 / 切スイッチ付きです）

形　名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-05P2	電源プラグ	塩化ビニル管 VP,VU 呼び径 50,65,75 ㎜	木ネジ 3 本
V-05PD2-SW	速結端子		
V-05P2-S	電源プラグ	塩化ビニル管 VP,VU 呼び径 50 ㎜	木ネジ 3 本 クッション 1 本
V-05PD2-S-SW	速結端子		

お願い

- **高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。**（故障の原因になります）
- **アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。**（振動の原因になります）
- **システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。**（壁厚により据付けられないものがあります）
- **天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。**
- **効果的な換気を行うために給気口を設けてください。**

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

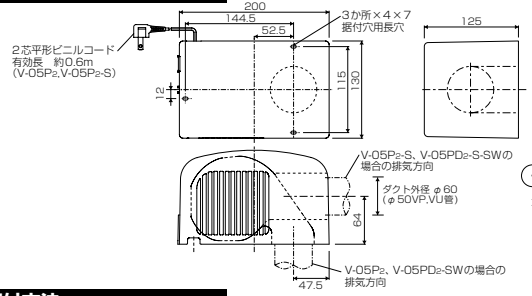
⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因。
分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
指示に従う	●**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう据付ける** 漏電・発火の原因。
	●**交流 100V を使用する** 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物の損害に結びつくもの

禁止	●**直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない** 火災の原因。
風呂・シャワー室での使用禁止	●**浴室など湿気の多いところには据付けない** 感電および故障の原因。
指示に従う	●**電気工事は必ず電気工事店に依頼する** 感電や火災の原因。
	●**据付けの際は必ず手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。
	●**部品の据付けは確実に行う** 落下によるけがの原因。
	●**本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によるけがの原因。
	●**電気工事は電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）および内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
プラグを抜く	●**据付け後、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

外形寸法図



付属品

本体固定用木ネジ ……3 本
クッション（V-05P2-S、V-05PD2-S-SW のみ）……1 本

据付方法

1．据付前の準備

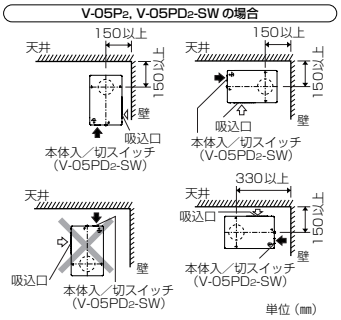
⚠注意 ●**湿気の多い場所（浴室・シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など）、結露する場所には据付けない**
感電・故障の原因。

壁据付けの場合

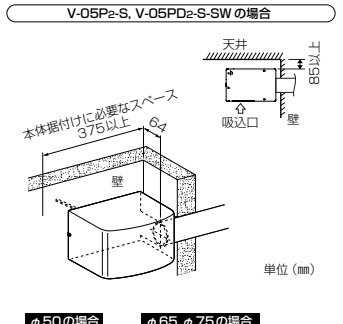
壁穴へのパイプの固定

1．据付け場所を決めて穴をあける
- 同梱の型紙のご使用をおすすめします。（V-05P2、V-05PD2-SW）
- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

V-05P2, V-05PD2-SW の場合



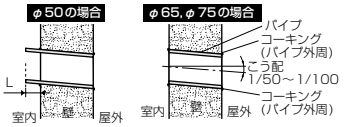
V-05P2-S, V-05PD2-S-SW の場合



2．壁穴にパイプを確実に固定する
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。（φ 65、φ 75 の場合）

お願い
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

φ 50の場合　φ 65, φ 75の場合



※ V-05P2-S は φ 50 のみ据付け可能です。

形　名	L（㎜）
V-05P2, V-05PD2-SW	5
V-05P2-S, V-05PD2-S-SW	100

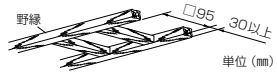
天井据付けの場合

野縁組立とダクト配管

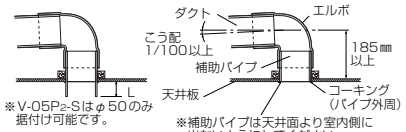
1．右図のように野縁組立をし、ダクト配管をする。

2．ダクトの中心から天井板まで 185 ㎜以上離して天井板をはる。

3．エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



φ 50の場合　φ 65, φ 75の場合



※ V-05P2-S は φ 50 のみ据付け可能です。

※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

お願い
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

形　名	L（㎜）
V-05P2, V-05PD2-SW	5
V-05P2-S, V-05PD2-S-SW	100

2．電気工事

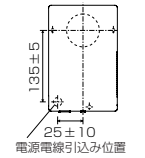
⚠警告
- **交流 100V を使用する**
直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う**
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- **電気工事は電気工事店に依頼する**　感電の原因。

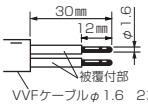
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

V-05PD2-SW, V-05PD2-S-SW の場合

1．電源電線を室内に 300 ㎜引き込む
- 引き込み位置は右図を参照してください。
- 電源電線は VVF φ 1.6　2 芯をご使用ください。



2．電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする
- 端子部へのほこり侵入を防ぐため、皮むき寸法を必ず守ってください。



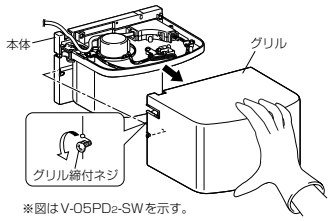
V-05P2 (-S) の場合

コンセントを設ける
- 内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

3．本体の据付（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

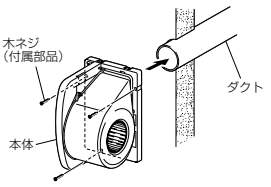
1．グリルをはずす
ネジをゆるめてグリルを本体からはずす。
- 製品本体を保持し、右図グリル中心付近を持ち、引き抜きます。
その際、排気口内部の羽根に触れないでください。
（羽根ズレ、異常音の原因となります）

2．本体の据付け
（図は壁据付けをあらわしています。天井据付けも同様です）
本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ（3 本）で固定する。
- 据付面がコンクリートの場合は、市販のコンクリートビスを使用して固定してください。
- 石こうボードに据付ける場合は、市販の石こうボード用アンカーを必ず使用してください。

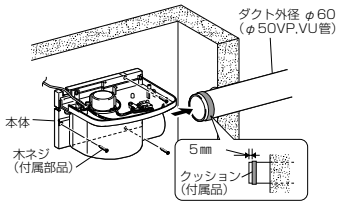


※図は V-05PD2-SW を示す。

V-05P2, V-05PD2-SW の場合



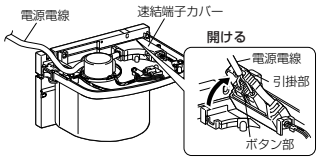
V-05P2-S, V-05PD2-S-SW の場合



※パイプ先端より 5 ㎜あけ、付属品のクッションを巻き付けてください。

3．V-05PD2-SW・V-05PD2-S-SW は電源電線を速結端子に差し込む
1．速結端子カバーの引掛部に手を掛け、右図のように開ける。
2．電源電線を速結端子に差し込む。
3．速結端子が差し込まれていることを確認し、確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

お願い
- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。皮むき部分が端子よりはみ出ないようにしてください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。

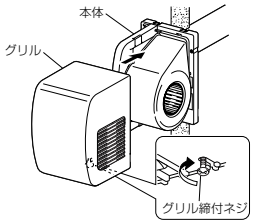


※図は V-05PD2-SW を示す。

4．グリルの据付け
（図は壁据付けをあらわしています。天井据付けも同様です。）
1．グリルを本体に据付ける。
- グリルの方向を間違えないようにして本体にはめ込み、ネジを締め付け固定します。
- 電源プラグタイプは電線をかみ込まないようにグリルの切り欠き部から引き出します。
- ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないでください。

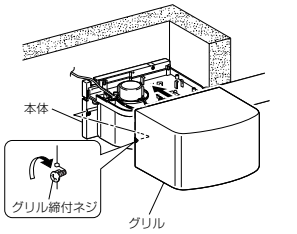
2．電源プラグタイプは電源プラグを専用コンセント（単相 100V）に差し込む。
3．以上の設置が終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

V-05P2, V-05PD2-SW の場合



※図は V-05PD2-SW を示す。

V-05P2-S, V-05PD2-S-SW の場合



5．試運転を行う
- 製品が運転・停止するかを確認してください。
（製品にスイッチを備えている機種は「入・切」の状態を確認してください）
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町 1 番 3 号

この説明書は、再生紙を使用しています。